

『人体の解剖生理学』 第2版

正誤表

(2020年8月現在)

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠に有難うございます。本書に以下の誤りがございましたので、深くお詫び申し上げますとともに、下記のように訂正させていただきます。

株式会社 金芳堂

■第1刷

訂正箇所	誤	正
4頁 図1-3	N (アミノ酸の一般構造式, カルボキシル基)	C
80頁 見出し	上・下大動脈と奇静脈系	上・下大 静 脈と奇静脈系
107頁 図4-21	VPM 後外側腹側核	VPM 後 内 側腹側核
123頁 図4-42	上直筋 (動脈神経) (どうみゃくしんけい)	上直筋 (動 眼 神経) (どう がん しんけい)
125頁 図4-46	大錐体神経 (だいついたいしんけい)	大錐体神経 (だい すい たいしんけい)
127頁 図4-48	三叉神経背骨路核	三叉神経脊 髓 路核
128頁 図4-49		 *疑核に引出線が欠けていたので追加
130頁 図4-54	鎖骨乳突筋 (さこつにゅうとつきん)	胸鎖 乳突筋 (きょうさ にゅうとつきん)
135頁 図4-62	梨状筋上孔	梨状筋上孔 (りじょうきんじょうこう) ※読み仮名を追加した
135頁 図4-62	梨状筋下孔	梨状筋下孔 (りじょうきんかこう) ※読み仮名を追加した
141頁 図4-70	星状神経節	星状神経 節

155 頁	下から 4 行目	ペプチドホルモンの一部、インスリン	ペプチドホルモンの一部 である インスリン
156 頁	下から 7 行目	内分泌系（ないぶんぴけい）	内分泌系（なんぶん びつ けい）
157 頁	4 行目	抹消中の	抹消 血中の
158 頁	下から 10 行目	バソプレッシン（抗利尿ホルモン）	バソプレッシン（ 抗利尿 ）
159 頁	表 5-1 “ゴナドトロピン放出ホルモン”の作用の列	視床前野 弓状核 LH, FSH 放出抑制	LH, FSH 放出抑制
160 頁	最後行	乳汁分泌（にゅうじゅうぶんび）	乳汁分泌（にゅうじゅうぶん びつ ）
162 頁	（2）中間葉の段落	α MSH	α -MSH
162 頁	（2）中間葉の段落	ヒトでは別の機能があると考えられている	ヒトでは 抗炎症作用など 別の機能があると考えられている
164 頁	下から 5 行目	TSH により	TSH 刺激 により
166 頁	図 5-13 図題	上皮小体の位置	上皮小体の位置（ 咽頭後面から ）
168 頁	表 5-3 インスリンの作用の列	アミノ酸の取り込みを促進させ、また、ブドウ糖からグリコーゲンの生成、ブドウ糖の酸化と脂肪への転化およびタンパク質合成の促進で、血糖値を低下させる	アミノ酸の取り込みを促進させる。 また、ブドウ糖からグリコーゲンの生成、ブドウ糖の酸化と脂肪への転化およびタンパク質合成の 促進により 血糖値を低下させる
221 頁	図 7-5	喉頭蓋軟骨（いんとうがいなんこつ）	喉頭蓋軟骨（ こう とうがいなんこつ）
243 頁	図 8-7	喉頭蓋（いんとうがい）	喉頭蓋（ こう とうがい）
245 頁	図 8-9	咽頭蓋（いんとうがい）	喉頭蓋 （ こう とうがい）
245 頁	図 8-9	喉頭部（いんとうぶ）	喉頭部（ こう とうぶ）
246 頁	図 8-10	咽頭蓋（いんとうがい）	喉頭蓋 （ こう とうがい）

■第 1 刷および第 2 刷

訂正箇所	誤	正
278 頁 ②排卵 上から 2 行目	下垂体後葉	下垂体 前葉
292 頁 3) 催奇形因子による異常 下 段 2 行	また水痘に妊婦が妊娠初期に感染すると約 20%の確率で胎児に四肢障害、筋萎縮、精神発達の遅延を引き起こす。	また 妊婦が妊娠初期のころに風疹に初感染すると、胎児に感染し、先天性風疹症候群を持って生まれてくる確率が高くなる。